

(19) こまつな

(ア) 病害

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
白 斑 病	薬剤防除 1. 茎葉散布

(イ) 害虫

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
鱗翅目幼虫	物理的防除 1. 露地栽培 防虫ネットによるトンネル及びべたがけ栽培は被害を軽減できる。 2. ハウス栽培 側窓に防虫ネットを取り付けると被害を軽減できる。
コ ナ ガ 発生初期～	薬剤防除 1. 薬剤抵抗性情報（詳細は 261~277 ページ参照） (1) ピレスロイド系及びベンゾイル尿素系薬剤抵抗性個体群：道内で発生が確認されている。 (2) ジアミド系薬剤感受性低下個体群に対応した防除対策はキャベツの項（123 ページ）を参照。 2. 茎葉散布 初令幼虫は葉肉内に潜入、3～4 令幼虫と蛹の多くは葉裏に寄生しているので、散布むらがないように十分量を散布する。

(ウ) クリーン農業技術（病害虫防除関係分）（こまつな）

○物理的防除

- ・ハウスの開口部を防虫ネットで被覆、あるいは、不織布・防虫ネット使用の露地トンネルで散布回数削減

○生物的防除

- ・生物農薬（B T 剤）の利用

○耕種的防除

- ・輪作による土壌病害の回避
- ・排水改善、換気、かん水調整等によるハウス・トンネル内の適正湿度の確保
- ・発病葉の除去等のほ場衛生管理
- ・土壌酸度の調整による根こぶ病の回避

※注釈

●防虫ネットの利用による食葉性害虫の被害回避

防虫ネットの目合いと侵入防止できる害虫の関係は下表のとおり、露地栽培では

被覆前からの寄生、ハウス栽培では開口部のすきま等からの侵入に注意を要する。
防虫ネットの目合いと侵入防止できる害虫の関係（事例）

目合い (mm)	害虫の種類
4.0	タバコガ類、ヨトウムシ類、モンシロチョウ
1.0	コナガ、アブラムシ類、ナモグリバエ
0.9	スリップス類、オンシツコナジラミ
0.8	キスジノミハムシ
0.6	その他微小害虫

●土壌酸度の調整による根こぶ病回避

根こぶ病は土壌 pH4.6～6.5 で多発するので、6.5 以上になるよう石灰資材等で調整すると軽減される。